

令和8年6月分「市民の声」一覧

受付日	完了日	件 名 ・ 内 容	回 答（市の考え方や対応など）	担当課
6月1日	6月12日	夜間救急医療センターの横領事件について 先日テレビニュースで、この事件の死亡した元職員は不起訴となった旨を知り、そういえばあの約2億5千万円と言われる被害金額はどうなったかと思い、市ホームページをいろいろ検索かけて調べてもまったく情報がない。 わざわざネガティブな事柄を市ホームページに載せたくないのかもしれないが、この事件は単発の事務処理の不祥事等とは違い、長期間にわたる横領で被害金額も莫大で、発覚当時全国ニュースにもなった大事件であり、今現在いくら取り戻したのかも市民には全くわからないので、事件発覚から時系列で経過を説明するまとめページを作り公表してもらいたい。 個人的にはトップページにこの事件のバナーを作って、市として情報をオープンにして、全額取り戻す強い姿勢を示してもらいたいけどな。 なお、犯人の個人情報はもちろん隠した上での話です。	このたびは、沼津夜間救急医療センターにおける使途不明金事案につきまして、市民の皆様にご多大なるご心配をおかけしておりますこととお詫び申し上げます。 同センターは、指定管理者として「3市3町（沼津市、裾野市、三島市、長泉町、清水町、函南町）」と「3医師会（沼津医師会、三島市医師会、田方医師会）」で構成される「公益社団法人沼津夜間救急医療対策協会（以下「対策協会」という。）」が管理運営している施設です。 今回の使途不明金事案は、対策協会の職員が引き起こしたものであるため、対策協会が刑事及び民事手続きを進めております。 このうち、刑事手続きにつきましては、令和8年5月21日付で不起訴処分となった旨の報告を受けております。一方で、使途不明金の回収に向けた民事上の対応につきましては、現在も継続中であり、対策協会からは進捗状況等を踏まえ、適切な時期に改めて報道発表等の対応を検討していると伺っております。 今回いただいたご意見を踏まえ、沼津市をはじめ3市3町の住民の皆様への適切な情報提供について検討するよう、対策協会に申し伝えます。	健康づくり課
6月1日	6月9日	岡宮の悪臭について 昨年12月から引っ越してきました。 週2日くらいのペースでうんこ臭くて驚いています。 窓を開けなくても24時間換気で臭いが入り込んできます。 うんこの中で寝ろと言うのでしょうか。 勘弁してください。	岡宮周辺の悪臭の発生源となっているのは、豚などの畜産農場や堆肥舎であります。市ではこれまで、特に広範囲に臭気の影響を与えていると思われる事業所に対して、臭気測定を継続的に実施し、その結果を踏まえて、臭気対策についての指導・助言を行っております。 事業者においても、市の指導に従い、浄化槽管理の専門業者への委託化、堆肥舎へのカーテンの設置、堆肥の攪拌作業の見直しなどの臭気対策を実施してきました。 また、脱臭装置の設置に関する市独自の補助金を活用し、令和6、7年度に次亜塩素酸水を利用した装置を設置しました。令和8年度も、新たに脱臭装置を増設する予定となっており、さらなる臭気抑制に努めております。 市といたしましては、畜産農業の性質上、臭気の原因をゼロにすることは大変難しい状況ではありますが、専門知識を有する県の畜産関係部署と連携して設置した脱臭装置の効果を検証するなど、引き続き、事業者への指導・助言を行い、悪臭の軽減に努めてまいります。	環境政策課
6月1日	6月10日	千本浜公園の無料駐車場について 千本浜公園の無料駐車場ですが、利用時間は6時～21時となっていますが、6時以前より大量の車が駐車しています。入口は6時に開場するようですが、出口が24時間解放されているようで、出口専用道路から入場しているところを何度も見かけかなり危険だと感じます。 また、おそらく釣り目的の人々ですが6時以前の釣りのため付近の有料駐車場を利用している人が馬鹿らしいと感じてしまいます。	日頃より千本浜公園を利用いただき、誠にありがとうございます。 ご指摘のとおり、千本浜公園駐車場の施錠は入口のみであり、出口は行っておりません。これは同駐車場が一方通行の構造であり、出口からの車両進入を想定していないこと、駐車された方が入口施錠後閉じ込められる事態を防ぐことを目的としてしております。 現在、駐車場出入口には一方通行であることを示す標識を4か所設置し、出口からの進入を禁止する旨を示しております。 しかしながら、ご意見のとおり、出口からの進入は大変危険であるため、利用者の方に、出口からの進入禁止の旨を確実に伝えられるよう、既存の「一方通行」の標識に加え、出口付近に「進入禁止」を示す標識を設置します。また、市ホームページにおいても、進行方向の厳守について記載するなど、更なる注意喚起を実施してまいります。 今後も、訪れた方が安心して利用できる公園づくりに努めてまいりますので、ご理解のほどよろしくお願い申し上げます。	緑地公園課

受付日	完了日	件 名 ・ 内 容	回 答（市の考え方や対応など）	担当課
6月2日	6月12日	アニメ依存について あまりにもアニメに依存しすぎてないか？ 駅やバス、タクシーなど他にやることがないかと思ってしまう。 市民よりアニメですか市長？ 情報発信が公私混同してるようにしか見えません。業者との癒着と勘繰られても仕方ない内容です。	本市を舞台にしたアニメ「ラブライブ！サンシャイン!!」は、全国的に知名度が高く、TVアニメの放映開始から約10年が経過した今でも、数多くのファンの皆様が聖地巡礼として本市を訪れております。 また、地元事業者を中心に、アニメを活用したイベントの開催をはじめ、ラッピングバス、ラッピングタクシーの運行や、商店街におけるフラッグの掲揚、個店での沼津まちあるきスタンプ等の様々なコラボレーション事業が展開されてきました。 こうした取り組みが、交流人口の拡大や定住人口の確保、産業面等に成果をあげており、昨年度開催された「クールジャパン戦略会議※1（第6回）」においても、本市の取り組みが評価され、2025年度「コンテンツ地方創生拠点※2」に選定されました。 本市のラブライブ！サンシャイン!!を活用した取り組みは、コンテンツツーリズムの先進事例として全国から更なる注目を集めているところであります。 このようなことから、引き続きコンテンツをとおして、沼津の持つ海・山・川の豊かな自然や、歴史・文化、食といった多様な魅力を発信し、沼津ならではの様々な地域資源を活用した取り組みを、他の施策とともに複合的に進めてまいります。	観光戦略課
6月3日	6月12日	市内防災無線の音声変更のお願いについて 大岡に住む沼津市民です。 17:20頃の防災無線を家の中で聞いていましたが、通常時よりも雨雲で音が反響するせいか、窓を空けても放送の音が反響してほとんど聞き取れませんでした。 うっすら聞こえる、くり返される「避難」という言葉と普段よりも長い放送の長さで、台風に関する何か警報じゃないかと判断し、Twitterの沼津市緊急情報を見に行って、やっと内容・避難指示が出ていることを把握しました。 せっかく避難や避難所の場所を放送していても、無線放送から何一つ聞き取れませんでした。私は30代で耳に病気はなく、むしろ他の人より耳が良い方ですが、無線から何も情報を取得できませんでした。30代の私が聞き取れないなら、高齢者や聴覚の弱い人はもっと聞き取れないと思います。 今日の放送に加えて、2年前？の台風での大雨（沼津市内で床上浸水が起きたとき）の放送も、聞き取れませんでした。大雨の音が強く、家の中にいても放送が聞き取れず、その場で窓を開けてもベランダに出ても内容が聞き取れませんでした。さらに雨脚が強まるとより聞こえなくなり、その2日目の強い雨の日は放送から一言も聞き取れず、窓を閉めていたので強い雨音にかき消され、放送があったことすら気づかないときもありました。 狩野川の氾濫の恐れで、大岡地区に緊急避難の放送が頻繁に何度もされていましたが、放送が流れていることはわかって、何が言われてるのか・それまでの状況と何が変わったのか肝心なことが無線から何も聞き取れなかった記憶があります。（これを期に沼津市の防災アカウントを常にフォローしました。） 多くの人にとって女性の声の方が高いから聞きやすい、低い声よりも注意を向けやすいと聞いたことがあります。 男性の声の放送だと、今回のように声がくぐもり、雲に音が反響して聞こえないと思います。また、普段から男性の声で行方不明者の放送をしてるので、それと誤解され、必要な情報が届かない恐れもあるのではないのでしょうか。 非常時、今回のような災害の警報や避難指示が出たときだけでも、防災無線の声を聞き取りやすい女性の声に変えてもらえないでしょうか？それが難しいようなら、信号機の視覚障害者向けの音声のような、はっきりした聞き取りやすい声に変えていただきたいです。検討よろしくお願いします。	この度は貴重なご意見ありがとうございます。 同報無線による放送は、あらかじめ登録した内容を自動音声で放送する場合や、職員の肉声で放送する場合など、内容や緊急性に応じて適宜対応しております。ご指摘の放送は、台風第6号の接近に伴い、避難所を開設したことをお知らせする内容のもので、長文であったため自動音声の登録ができず、職員の肉声で放送いたしました。いただいたご意見については真摯に受け止め、今後とも市民の皆様の安心・安全に関する事柄については、特に聞き取りやすい放送になるよう心がけてまいります。 なお、同報無線による放送は、設備の位置や風向きにより、市内でも聞こえ方に差があるため、自宅の電話や携帯電話から、放送された内容を確認できる、「同報無線自動応答システム」を運用しております。すでに沼津市の防災アカウントをフォローしていただいているとのことですが、災害情報については、沼津市防災ポータルサイト、沼津市公式防災アプリ、XやLINE、メールなど様々な媒体を通じて今後も積極的に発信してまいります。	危機管理課

受付日	完了日	件 名 ・ 内 容	回 答（市の考え方や対応など）	担当課
6月3日	6月23日	蛇松緑道での自転車走行について 蛇松緑道を自転車に乗ったまま走行している人がいて危険なので、なんとかしてほしい。	このたびは蛇松緑道の利用にあたり、ご不快な思いをさせてしまい申し訳ございませんでした。 ご指摘のとおり、蛇松緑道を含む公園内での自転車走行は大変危険であり、沼津市都市公園条例第3条第1項第7号にて禁止されております。市としても、市ホームページでの公園内禁止行為の発信や、蛇松緑道の始点である白銀町付近を中心とした看板の設置を通じ、周知に努めているところです。 今後は、より効果的に乗り入れ禁止の旨を周知するため、蛇松緑道全体を再度確認し、啓発が必要な地点について看板を追加で設置するとともに、啓発内容についても条例違反である旨を強調するなど、表現方法を見直してまいります。 また、市ホームページにつきましても、禁止行為が条例違反であること伝える項目を追加し、公園マナーをより効果的に啓発できるようにいたします。	緑地公園課
6月4日	6月23日	高齢者向けのAI講座について さて、近年生成AIを始めとするデジタル化進み、行政手続きや日常生活においても活用場面が増加している。その一方で、高齢者からは「使い方が分からない」「相談できる場所がない」との声が多く聞かれ、デジタル格差の拡大が懸念されています。つきましては、地域の高齢者が安心してデジタル社会に参加できるよう、高齢者向けのAI講座の開設をご検討をいただきたくたくよろしくお願いいたします。	この度は、貴重な御意見をお寄せいただきありがとうございます。 本市では、趣味等を通じて社会参画を促すため生涯学習講座のほか、高齢者の皆様に身体的、認知的機能の維持向上などを目的とした介護予防講座を開催しています。 この中で、介護予防講座では、スマートフォンやタブレットの基本操作などを学ぶ、65歳以上を対象としたスマートフォン教室を開催しており、音声認識AIを活用した検索や、カメラのAI認識機能を使ったQRコードの読み取りなどを体験していただいております。 現在AIに特化した講座は開設しておりませんが、AI技術の進歩と普及は目覚ましく、シニア世代の皆様にとっても、日常生活の利便性向上や新たな生きがいづくり、趣味の幅を広げる有益なツールでもありますので、いただいたご御意見につきましては、今後の講座企画の参考にさせていただきます。	生涯学習課 長寿福祉課

受付日	完了日	件 名 ・ 内 容	回 答（市の考え方や対応など）	担当課
6月9日	6月26日	津波注意報発令時の対応のあり方について 平素より市民の安全確保と地域の発展のためにご尽力いただき、心より感謝申し上げます。 このたび、フィリピン沖で発生した地震に伴い発令された津波注意報への対応について、市民の一人として意見を申し上げます。 まず、私は防災対応そのものを否定するものではありません。市民の生命と安全を守ることを最優先に行動された市の姿勢に対し、深く敬意を表します。その上で、津波注意報と津波警報のリスクの違いを踏まえた対応のあり方について、改めて検討いただきたく、本意見をお送りするものです。 気象庁では、津波注意報と津波警報を明確に区分しています。 ・津波注意報は、予想される最大波高が0.2メートル以上1メートル以下の場合に発表され、「海の中や海岸付近は危険であるため、海から上がり海岸から離れること」を主な呼びかけ内容としています。 ・一方、津波警報は予想される最大波高が1メートルを超える場合に発表され、避難行動が強く求められるものです。 今回の事案は津波注意報の発令であり、津波警報や大津波警報とは異なる状況でした。しかしながら、市は海岸・河口付近への避難指示、らららサンビーチの閉鎖、観光施設や案内所の閉鎖、陸間・水門の閉鎖、沼津港周辺への対応要請、市民窓口事務所の閉鎖など、広範囲かつ長時間にわたる各種制限措置を実施されました。 これらの措置は、安全確保を目的としたものであることは十分理解しておりますが、一方で市民生活や地域経済への影響も小さくなかったと感じております。 特に、沼津市は海と港を活かした観光都市であり、海岸周辺の観光施設や飲食店、商店街は地域経済を支える重要な存在です。観光シーズンや週末などに同様の対応が行われた場合、施設の休業や観光客の来訪見合わせによる経済的損失が生じる可能性があります。また、市民窓口の閉鎖などは、行政手続きを必要とする市民にも一定の影響を及ぼします。 命を守るための慎重な防災対応は極めて重要ですが、その一方で、リスクの程度に応じたバランスの取れた運用も重要であると考えます。毎回同様の大規模な制限措置を実施した場合、以下のような課題が生じることを懸念しております。 （次ページへ）	この度は、フィリピン付近の地震に伴う津波注意報への対応について、貴重なご意見をいただきありがとうございます。 まず、当日の状況についてですが、令和8年6月8日8時38分にフィリピン付近で発生した地震に伴い、気象庁が9時05分に津波注意報を発令したため、本市は9時25分に海岸・河口付近を対象とした避難指示を発令しました。津波第一波の沼津市到達時刻が日中であったこと、釣り人などの海岸利用者がいることを踏まえて、より安全な避難行動を促すため、また、国の避難情報ガイドラインや地域防災計画に基づき判断したものです。 今回の避難指示の発令に伴い、市が所管する沿岸部の一部施設は閉鎖等の対応を取りました。また、民間の観光施設や店舗の一部についても、各施設管理者の判断により対応を取られたものと理解しております。ご指摘いただいたとおり、避難情報の発令は、社会経済活動への影響も少なくないことは承知しております。 本市は海岸線を約60キロメートル有しており、津波情報の的確な伝達に努めており、市民の皆様の安全を最優先とした対応を徹底しております。今後とも、市民の皆様が取るべき行動の判断材料となる情報発信と広報に努め、適切な避難情報を発令するよう努めてまいります。	危機管理課

受付日	完了日	件 名 ・ 内 容	回 答（市の考え方や対応など）	担当課
		1. 市民生活および経済活動への影響 津波注意報レベルにおいて広範囲な施設閉鎖や活動制限が行われる場合、観光業、漁業、飲食業、小売業など地域経済への影響が大きくなる可能性があります。また、市民の日常生活にも一定の支障が生じます。 2. 危機意識の維持に関する課題 注意報と警報の違いが市民に十分伝わらず、いずれの場合も同様の対応が続くと、「今回も大きな制限が行われる」という受け止め方が定着する可能性があります。その結果、本当に重大な危険を伴う津波警報や大津波警報が発令された際の避難行動に影響を与えることが懸念されます。 3. より効果的で柔軟な対応の検討 津波注意報時には、海岸や海浜施設を中心とした警戒を基本としながら、状況に応じて次のような運用も検討できるのではないかと考えます。 ・海岸や防波堤など危険区域への立ち入り制限を重点的に実施する。 ・観光施設については、安全確保が可能な範囲で部分的な営業継続や段階的な利用制限を検討する。 ・陸閘や水門の運用については、危険性の高い箇所を優先し、対象区域をより細かく設定する。 ・市民窓口などの行政サービスについては、可能な限り通常業務を維持しながら必要な防災体制を確保する。 沼津市は豊かな海と港を有する魅力的なまちであり、市民の暮らしや地域経済も海と深く結びついています。だからこそ、安全確保を最優先としながらも、市民生活や地域経済との均衡を考慮した防災対応が重要であると考えます。 つきましては、今回の対応を一つの事例として検証いただき、津波注意報発令時の対応基準や運用方針について見直しをご検討いただければ幸いです。また、その考え方や判断基準について、市民への丁寧な説明と情報共有をお願い申し上げます。 市民の声の一つとしてお受け止めいただき、今後の防災行政のさらなる充実につなげていただければ幸甚に存じます。 ご多忙のところ恐縮ではございますが、ご検討のほどよろしくお願い申し上げます。		

受付日	完了日	件 名 ・ 内 容	回 答（市の考え方や対応など）	担当課
6月10日	6月23日	沼津市文化財センターの認知度向上について 沼津市の施設で沼津市文化財センターがありますが、市民、沼津議員でも認知度が低い施設です。 ですが、この施設の展示物は、沼津市に興味のある方にとって活かせる施設だと思います。また、他の古墳や文化施設の紹介もできます。活かして下さい。 問題点 観光案内に施設の表記が無い ・沼津市観光総合パンフレット 沼津 同添付地図に表記無 案内無 ・ぬまづまるごとマップ ・沼津市歴史民俗資料館 改善案 (1)観光案内に場所、連絡先、紹介文を明記 (2)御用邸から近いので、沼津市歴史民俗資料館の地図に記載 歴史民俗資料館を見られる方は沼津の歴史に興味があり文化財センターに寄って頂ける可能性が高いと思います。また、ここで知って頂けると長井崎や原方面にも訪れて頂けるかと思えます。 効果 ・観光客を増やせる要素があるため、バスの本数も増やす努力ができる。 教育委員会・観光戦略課等で情報共有し、元気な沼津にして下さい。	沼津市文化財センターの認知度向上と本市の観光振興に関する貴重なご意見をいただき、誠にありがとうございます。 沼津市文化財センターでは、高尾山古墳や興国寺城跡など、先人が築き上げてきた、地域を代表する貴重な文化遺産を調査・保存・展示しており、この地域の文化遺産を次世代に継承していく上で重要な役割を担っている施設であります。 今回いただいたご意見を踏まえ、各種パンフレット等への当施設の表記につきましては、次期改訂時の掲載に向け検討してまいります。 また、地域での集客や回遊性の向上を図るため近隣施設との連携や、SNS等を活用した情報発信を充実させ、文化財センターの魅力をより多くの方々に知っていただけるよう取り組んでまいります。 今回このようなご意見をいただいたことは、文化財の保存・活用に係わる職員にとりましても大変励みになります。今後も関係課と連携し、本市の観光振興と地域文化の活性化に努めてまいります。	文化政策課 観光戦略課

受付日	完了日	件 名 ・ 内 容	回 答（市の考え方や対応など）	担当課
6月10日	6月23日	市内におけるクマ出没状況と対策について いつも市民の安全確保にご尽力いただきありがとうございます。 近年、全国各地でクマの市街地への出没が相次いでおり、先日報道された宇都宮市におけるクマ出没事案についても大変驚きました。人的被害の発生が懸念される中、沼津市においても今後同様の事態が起こる可能性がないか不安を感じています。 そこで、以下の点についてお伺いします。 1. 沼津市内における近年のクマの目撃情報や出没状況 2. 市として把握している生息状況や出没リスク 3. 市民への注意喚起や情報提供の方法 4. クマが市街地や住宅地付近に出没した場合の対応体制 5. 今後予定している被害防止対策や関係機関との連携状況 沼津市は愛鷹山や箱根山系など自然豊かな環境に近接していることから、万が一の事態に備えた情報共有や対策が重要であると考えます。 市民が安心して生活できるよう、現在の状況と対策についてご説明いただけますと幸いです。 よろしくお願いいたします。	平素より本市行政にご理解とご協力をいただきありがとうございます。 市内におけるクマの出没状況と対策について、回答いたします。 1. 市内における近年のクマの目撃情報や出没状況について 本市では、近年、数件のクマの目撃情報が寄せられています。これらの通報を受け、市、警察及び猟友会による現地確認を実施しておりますが、これまでのところ足跡や爪痕、糞などの痕跡は確認されておらず、また、実際の個体も確認されておられません。 2. 市として把握している生息状況や出没リスクについて 静岡県が生息調査によれば、県内のツキノワグマは主として南アルプス周辺及び富士山周辺の山間部に生息しているとされております。また、目撃情報を受け実施した現地確認においても痕跡や個体は確認されておらず、市内における定着的な生息を示す証拠は確認されておられません。 しかしながら、裾野、富士宮など近隣自治体で目撃されておりますことから、引き続き関係機関と連携しながら情報収集と警戒を行ってまいります。 3. 市民への注意喚起や情報提供について 本市では、クマなどの大型野生鳥獣の目撃情報が寄せられた場合、まず市、警察、静岡県及び猟友会等の関係機関と情報共有を行うとともに、現地確認を実施し、状況に応じて自治会、学校等への情報提供や注意喚起を行うほか、市ホームページ等を活用し、情報発信を行うこととしております。 4. クマが市街地や住宅地付近に出没した場合の対応体制について クマが市街地や住宅地付近に出没した場合には、市、警察、静岡県及び猟友会等の関係機関が連携し、現地確認や情報収集を行った上で、出没場所や個体の行動状況、人身被害の危険性等を総合的に判断し、罠による捕獲や追い払いなどの対応方針を決定いたします。 5. 今後予定している被害防止対策や関係機関との連携状況について 本市では、万が一のクマ出没に備え、関係機関との情報共有や連携体制の強化に取り組んでおります。また、全国的なクマによる人身被害の発生を踏まえ、警察、猟友会等との連携のもと、緊急時における対応手順の整理や体制整備を進めております。 市民の皆様の安全確保を最優先に、引き続き状況の把握と迅速な対応に努めてまいりますので、ご理解くださいますようお願いいたします。	農林農地課

受付日	完了日	件 名 ・ 内 容	回 答（市の考え方や対応など）	担当課
6月11日	6月23日	閉校後の学校施設の活用について この度、少子化の影響で二小と千本小が閉校となり、元校区の親御さんは子供の通学が大変であり、また、事故に遭いやすく、リスクを回避するため、ますます子供が減少する可能性は避けられない状況ではないでしょうか。 二小の跡を何にするか市としては考えていると思いますが、ないのであれば提案があります。 沼津を全面に出すのであれば、魚類(得意とする干物)、沼津野菜を中心とした「道の駅」を考えてはどうでしょうか。 たとえば、他に行っても、北海道は鮮魚、カニ等、また、北陸地方はカニ街道の様な、その地区の得意とするものを考え展開している様に思います。 二小跡は港湾も近く、回遊する事を考えてバスを運用し、朝夕は生徒の通学、昼間は観光客の利用も出来るのではないのでしょうか。 また、もし実現出来れば、雇用も生み、定着出来る人口も増加させる気もしますが、どうでしょうか。 市としては、人口を増加する様努力することが大事だと思います。	この度は貴重なご意見、ご提案ありがとうございます。 令和8年4月の集明小学校開校に伴い第二小学校及び千本小学校が、また令和9年4月の集明中学校開校に伴い第二中学校が閉校し、それぞれが学校跡施設となります。 学校跡施設の活用につきましては、現在、市役所において関係各課で検討を進めるとともに、保護者及び学校や、地域等の関係者で構成する「新しい学校づくり推進委員会」を開催しており、その中で学校跡施設部会を設け、地域の皆様と意見交換を重ねております。 これまでの検討や地域の意見に加え、民間事業者からの活用提案を募集するサウンディング型市場調査も6月19日に開始したところです。こうした取組により、地域の発展に資する最良な跡施設活用が実現できるよう、さらなる検討を進めてまいります。	教育企画課
6月12日	6月23日	沼津駅北口周辺における客引き行為等の取り締まり強化について 私は沼津市民として、沼津駅北口の〇〇町周辺、とりわけ〇〇付近において、キャバクラ、ガールズバー、性風俗関連店舗等への呼び込みや客引き行為が日常的に行われている状況に強い不快感と不安を抱いております。 夜間や深夜帯に同地域を通行する際、執拗な声掛けや呼び込みを目にすることが多く、安心して歩ける環境とは言い難い状況であると感じています。市外から訪れた方々に対しても、沼津市の玄関口である駅周辺の印象を損なう要因になっているのではないのでしょうか。 東京都豊島区では客引き行為等の防止に関する条例が制定され、違反者に対する厳格な対応が行われていると承知しております。沼津市においても、客引き行為を規制する条例や取り締まり体制が存在するのか、市民として疑問に感じております。 つきましては、警察との連携強化や巡回の実施、必要に応じた条例整備の検討など、駅周辺の環境浄化に向けた取り組みを進めていただきたく要望いたします。 善良な市民や来訪者が、夜間においても安心して通行できる健全な街づくりのため、ぜひご対応をご検討くださいますようお願いいたします。	このたびは、沼津駅北口周辺における客引き行為等について、御意見をいただきありがとうございます。 御指摘の地域につきましては、「静岡県迷惑行為等防止条例」第10条により、いわゆる迷惑客引き行為は禁止されております。 今回の御要望につきましては、警察と情報共有させていただき、警察に対し、当該地域への巡回頻度を増やしていただくとともに、違反行為を認知した場合は、条例に基づいた対応を取るよう依頼いたしました。 今後とも、市民の皆様が安全・安心に暮らせるまちづくりを進めてまいりますので、御理解・御協力をお願いいたします。	生活安心課

受付日	完了日	件 名 ・ 内 容	回 答（市の考え方や対応など）	担当課
6月15日	6月23日	バスの運行について 沼津市岡宮在住です。住み始めて10年ほどで大変気に入っておりますが、一点懸念があります。 バスの便数が少なすぎ、沼津駅前で食事をする、などが非現実的です。また、老後、免許返納後の移動範囲のことを考えると、移住してきたのはよいですが、このままここに住み続けるでよいのだろうか？ということも考えてしまいます。 「バスの本数を増やしてください」というのが要望なのですが、費用対効果を考えるとそれもまた非現実的なんだろうと推測します。 そこで一点、ご提案なのですが、「〇〇」の送迎バスを、市民の足代わりに使わせていただくということはできないものでしょうか？もちろん無料でというつもりはなく、運賃は支払うべきと考えております。無料送迎バスを有料で、ということになると、〇〇側の体制、維持管理、責任、登録など、クリアすべき課題は多そうですが、岡宮地区の利便性だけでなく、高齢化問題の解決の一助にはなると思います。沼津駅だけでなく三島駅にアクセスでき、何よりも便数がとても多いので、非常に利便性があると考えました。実現のために人手が必要であれば手伝いも厭いませんので、ご検討のほど、何卒よろしくお願い致します。	この度は、公共交通の利便性向上に関する貴重なご意見・ご提案をいただき、ありがとうございます。 地域の交通手段の確保は、日常生活の利便性向上だけでなく、高齢化の進展や運転免許返納後の移動手段の確保の観点からも重要な課題であると認識しております。 本市でも、地理的な要因により公共交通が使いづらい、時間帯により公共交通が運行していないなどの理由により生じる交通不便に対して、他地区にはなりますが、地域の協議会への運営支援や勉強会・セミナー開催の支援などを行い、地域住民と協働し新たな交通手段の導入に向けた取り組みを進めております。 今回頂戴いたしましたご意見につきましては、国が地域公共交通活性化再生法を改正し、民間の送迎車両を住民の送迎に活用するなど交通空白の解消のための方針を示したことから、地域住民が主体となる外出支援体制を構築する手段の一つとして検討させていただきます。 今後も、地域の実情に応じた持続可能な移動手段の確保に努めてまいりますので、ご理解・ご協力をいただきますようよろしくお願い致します。	まちづくり政策課
6月16日	6月23日	添地の駐輪場に放置されているオートバイについて 時々添地の駐輪場を利用する事があり、どうしても長期間放置されているであろうオートバイが目に入り不快に感じる時がある。 放置されているオートバイがあると、放置される数が増えてかつ、停める場所も少なくなり犯罪の温床にもなりかねないののでどうかしてほしい。	この度は、貴重なご意見をいただき、ありがとうございます。 長期間放置されている自転車等につきましては、警告札の貼り付けを行い、警察署への盗難届の有無の照会及び所有者への引き取り依頼等を実施したうえで、一定期間経過した場合に撤去を行っています。 ご指摘いただきました、添地駐輪場における長期間放置されているオートバイにつきましては、手続きに沿って処理を進めており、うち1台につきましては、既に撤去を行いました。 今後とも、駐輪場の適切な管理運営に努めてまいりますので、ご理解・ご協力をいただきますようよろしくお願い致します。	まちづくり政策課
6月17日	6月23日	トレーニングジムについて トレーニングジムを沼津の原地区センターにも作って欲しい いちいち体育館までいくのが面倒 沼津市は人口も多く広いので 何ヶ所かあった方が良くと思う	ご意見をいただきありがとうございます。 トレーニング室の設置に当たりましては、トレーニング器具の配置に加え、利用者の皆様が安心して安全にご利用いただけるよう、器具の点検・管理や巡回、安全確保のほか、利用受付、トレーニング指導、衛生管理などが必要となり、健康運動指導士の専門資格を有する指導員など複数の人員を常駐させる必要があります。 このことから、各地区センター等へのトレーニング室の設置は予定しておりませんが、原地区センターでは、年間を通じて地域体力づくり教室を開催しておりますので、よろしければ教室の参加についてご検討をいただければと思います。 ご理解の程、よろしくお願い致します。	ウィズスポーツ課

受付日	完了日	件 名 ・ 内 容	回 答（市の考え方や対応など）	担当課
6月17日	7月1日	市民課による戸籍調査の御礼について 年を取ると自分のルーツを探りたくなります。自身の戸籍謄本は手元にあったものの、周囲に迷惑をかけず、ある程度の先祖について知るには除籍謄本で知るしか手がありません。 市役所市民課証明係で調べてもらいました。古い書類は多分機械化されておらず、どこかの倉庫で保管されていると思料します。 時間をかけて調べていただき曾祖父までたどりつきました。個人情報保護の時代、大変だったと思います。ありがとうございました。 ただ残念だったのはそれ以前が不明となったことです。	市民課証明係の対応につきまして、お褒めの言葉を賜り、誠にありがとうございます。 このたびは、戸籍法に基づき、除籍謄本等を発行いたしましたが、焼失等により保存のない戸籍もあったことから、残念ながら一部ご期待に沿うことができませんでした。 今回、このようなお褒めの言葉をいただいたことは、対応した職員のみならず、市民課全体としても大きな励みとなります。 今後も丁寧な窓口対応を心掛け、市民の皆様に安心してご利用いただける行政サービスの提供に努めてまいります。	市民課
6月19日	7月1日	道路の不鮮明な区画線について 沼津市は交通死亡事故が多発しており警察が国一バイパス等で速度違反取締等を実施していますが、沼津市内を見渡すと道路の区画線、特に交差点部の進行方向を示す矢印ラインが消えており、市内在住の人間でもどの走行車線を走ればいいのか戸惑うことがあります。他県からの観光客においては猶更のことだと思います。市道の区画線の道路点検を早急に行い、運転者が理解し車両がスムーズに通行できるように区画線を引き直すよう対応をお願いします。	貴重なご意見ありがとうございます。 路面標示が見えにくくなっていることは、市民の皆様のみならず、市外からお越しの方々にとっても安全・安心に通行できる道路環境のため、早急な改善が必要であると認識しております。 このため、交通量の多い幹線道路等から優先的に調査を行っており、路面表示の摩耗の激しい箇所から適宜引き直しを進めているところです。 また、国道や県道につきましては、それぞれの道路管理者に対し、適切な補修が行われるよう要望しております。 今後とも道路等で何かお気づきの点がございましたら、市役所道路管理課維持計画係（電話：934-4789）、または沼津市公式LINEの機能「道路損傷・公園施設不具合通報窓口」までご連絡いただければと存じます。引き続き、市の道路行政にご理解、ご協力をいただけますよう、よろしくお願いいたします。	道路管理課
6月19日	7月13日	市立高校の空調管理について 沼津市立沼津高等学校に通う子どもから、教室内の暑さについて話を聞きました。 本日、教室内が非常に暑く、授業中に子どもが鼻血を出したそうです。職員室ではエアコンがいつも稼働している一方で、教室のエアコンは使用されていないとのことでした。また、その理由として「市が光熱費を負担しているため、むやみに使用できない」といった説明があったと聞いております。 生徒たちは朝から暑い中を徒歩や自転車などで登校し、教室に入っても十分に涼むことができず、一日を通して高温の環境で過ごしています。職員室のみエアコンが使用され、教室では使用されていない状況にも疑問を感じています。 近年は気温が高く、熱中症のリスクも増加しています。エアコンの使用については、「〇月から使用開始」といった一律の基準だけではなく、その日の気温や暑さ指数(WBGT)などを考慮し、生徒の健康と安全を最優先に判断していただきたいと思います。 今回は鼻血で済みましたが、熱中症などの後遺症も怖く、重大な健康被害が発生してからでは遅いため、教室の空調運用について実態を確認し、適切な対応をお願い申し上げます。 生徒が安心して学習できる環境整備をお願いいたします。	沼津市立沼津高等学校の空調管理について、貴重な御意見をいただきありがとうございました。 エアコンの使用については、季節や気象状況に応じて教室等の温湿度を適正に管理できるよう基準を定めており、職員室においても同一の基準で運用しております。 ご指摘のとおり、登校時の移動により生徒の体温が平熱より高くなる点がある点を踏まえ、当日の気温や湿度に応じて教職員が始業前に空調機器の運転等を行い、生徒の体調を十分に把握したうえで柔軟に対応することとしております。 エアコンの運用基準は職員間で共有しておりますが、職員会議や朝礼などを通じて適正な運用の徹底に努めてまいります。 今後もエアコンの使用に際しては生徒の健康と安全を最優先に考え、適切に運用するなど熱中症対策に取り組んでまいります。	沼津市立 沼津高等学校 中部部

受付日	完了日	件 名 ・ 内 容	回 答（市の考え方や対応など）	担当課
6月22日	7月8日	市立学校における火災時の安全対策について 本日、東京都北区の小学校で火災が発生したとの報道を受け、沼津市立学校における火災対策について不安を感じております。 そこで、市内の学校における火災時の安全確保策の現状についてお伺いいたします。 消防設備の設置や避難訓練が実施されていることは承知しておりますが、近年は火災発生時の避難安全性について、建物の構造や避難経路の確保も重要であると考えます。 特に、 ・各校舎において、火災発生時に二方向以上へ避難できる「双方向避難」が確保されているのか。 ・行き止まり(どん詰まり)となる教室や特別教室、倉庫、準備室等について、避難経路や在室状況を踏まえた安全対策が講じられているのか。 ・避難経路上に物品等が置かれていないかを定期的に確認しているのか。 ・火災報知設備や消火設備、防火戸等の点検が適切に実施されているのか。 ・教職員及び児童・生徒に対する避難訓練が、実際の火災発生を想定した内容で行われているのか。 について、市としてどのように確認・管理しているのかお聞かせください。 また、今回の東京都北区の事案を受け、市内学校施設の避難安全性について改めて点検を実施する予定があるのか、特に双方向避難の確保状況や行き止まりとなる部屋の安全性について確認を行う考えがあるのかについてもご回答をお願いいたします。 子どもたちが安心して学校生活を送れる環境を維持するため、現在の対策状況及び今後の対応方針についてご説明いただければ幸いです。 よろしくお願いいたします。	貴重なご意見をいただきありがとうございます。市立小・中学校における火災時の安全対策について、教育委員会から回答いたします。 火災発生時における児童・生徒の安全確保につきましては、御指摘のとおり、施設の構造及び設備などのハードと安全な避難経路などのソフトの両面において、万全な備えが重要であると考えています。 本市の学校施設については、災害時に児童・生徒の安全な避難経路を確保するため、廊下の安全な幅員の確保や校舎に必ず階段を2つ以上設けるなど、建築基準法に適合した施設となっています。 また、火災報知器や防火扉、消火栓などの防火設備の点検をはじめ、避難経路上の障害物の確認や非常口、非常灯の検査など、消防法に基づき定期的に点検を実施するとともに、教員による点検を日常的に行っています。 本市におきましても、先日、火災が発生した学校と同様に、行き止まり構造となっている教室等が一部ありますが、緊急時に迅速に対応できるよう、校長室又は職員室では、全授業における児童・生徒の在室状況を把握できる体制を整えております。 火災による避難訓練については、給食室や家庭科調理室等、実際に火を扱う場所を出火元として想定し、火元から遠い避難経路を使い、外階段や昇降口等の出入口から屋外のグラウンドに集合する形式で訓練を行っています。 また、管轄消防署と連携し、煙が充満した中での避難を体験することで、ハンカチ等で口と鼻を覆い、身を低くして移動することや、視界が十分でない場合は壁を頼りに慌てずに移動することの重要性を学ぶ機会を設定するとともに、状況に応じて臨機応変に自らの身を守ることにについて指導をしています。 今回の東京都北区の小学校火災を受け、学校施設の配置及び避難備品の設置状況を把握するため、市教育委員会では、全市立小中学校(市立高中等部含む)に対し、教室の配置や避難袋・避難はしごの設置状況などの調査を実施しているところです。併せて、本調査に合わせ、災害時における避難経路等の再確認をするとともに、児童・生徒の安全確保に向けた対策を徹底するよう、通知を発出しています。 また、駿東伊豆消防本部では特別査察として、管内の小学校を対象に消防法に基づく立入検査を実施する予定です。 今後におきましても、法令に基づく設備点検や実際の災害を想定した避難訓練を定期的の実施することにより、万一火災が発生した際に、児童・生徒が迅速かつ安全に避難できる環境づくりに取り組んでまいります。	学校施設課 学校教育課

受付日	完了日	件 名 ・ 内 容	回 答（市の考え方や対応など）	担当課
6月22日	7月8日	沼津市内の学校の避難経路について 昨日6月19日に、東京都の北区の小学校で火事がありました。 校舎の末端に音楽室があり、音楽室の手前の準備室が火元だった為、どうやら廊下に煙が回ってしまい？、準備室の先にある階段から逃げれず、窓の外の細い日差しに何とか脱出して救出を待った結果、死者無しということでした。 二方向避難できるように出来ない配置、市内の学校は大丈夫でしょうか？せめて最近進んでる建て替えの新築の校舎の方は大丈夫でしょうか…？	貴重なご意見をいただきありがとうございます。小中学校の学校施設を管理している教育委員会から回答いたします。 本市の小中学校の校舎につきましては、災害時に児童・生徒の安全な避難を確保するため、直近で改築をした校舎を含む、すべての既存の校舎において、避難階に通ずる直通階段を2つ以上設置し、避難器具、防火扉を備えるなど、建築基準法や消防法に適合した施設となっております。 本市におきましても、先日、火災が発生した学校と同様に、行き止まり構造となっている教室等が一部ありますが、万一火災が発生した際に、児童・生徒が迅速かつ安全に避難できるよう、消防法に基づく定期点検や教員による日常点検を実施するとともに、実際の災害を想定した避難訓練を定期的に行うなど、万全な対策を講じております。 今回の火災の発生を受け、駿東伊豆消防本部では安全対策の強化と防火意識の向上を図るため、管内の小学校を対象に消防法に基づく立入検査を予定しており、市教育委員会もこれに連携し、災害時の避難経路の再確認を行うとともに、児童・生徒の安全確保に向けた対策を徹底してまいります。 今後も児童・生徒の安全を最優先に考慮し、災害対策の強化に一層取り組んでまいります。	学校施設課
6月24日	7月8日	沼津市公式TikTokアカウントについて 投稿される動画について、市長や部長などの管理職の方々は事前に内容を確認されているのでしょうか。どのような判断基準で、あのような動画が投稿されているのか理解できません。 市民の税金を使って運営される市の広報として、PR効果が感じられないダンス動画を投稿することには疑問を感じています。公的機関の公式アカウントとしてふさわしい内容なのか、改めて検討していただきたいです。 なお、「効果的な広報活動を検討します」や「ご理解ご協力を」といった回答は望んでおりません。TikTok上では肯定的なコメントや高評価も見受けられますが、利用者層に偏りがあるため、それだけを市民全体の評価と捉えるべきではないと考えます。TikTokを利用していない一般市民の中には、厳しい意見を持っている方も少なくないと思われます。 TikTokへの投稿内容については、市の公式広報として本当に適切であるかを十分に検討した上で投稿していただきたいです。個人的な満足を目的としたように受け取られる動画については、公務としてではなく、プライベートや民間で行うべきではないでしょうか。	市の情報発信についてご意見をお寄せいただき、ありがとうございます。 市民の皆様のライフスタイルや情報入手手段が多様化するなか、本市では広報ぬまづや市ホームページによる情報発信のほか、即時性の高い情報をお届けする際には市公式LINEやX、本市の魅力を視覚的に伝えたい時にはInstagramやYouTube、TikTokなど、伝えたい情報や対象に応じて媒体を選択し、情報発信を行っております。 沼津市公式TikTokは、令和6年7月1日に、若手職員を中心とした「沼津市役所新時代創造プロジェクト」が取り組んだ広報改革の一環としてスタートしました。 情報収集を主にWebメディアで行う10代・20代の世代に沼津の情報や魅力を届ける手段として若手職員から提案されたもので、企画・撮影・編集のすべてを職員が実施しており、担当部長が確認したうえで公開しております。 令和7年度は24本の動画を公開し、全フォロワーの6割程度を34歳以下が占めていることから、若者世代に一定の支持を得ているものと認識しております。 令和7年度に実施した市民意識調査において、「ぬまづの宝100選」の認知度が、世代別では20代が最も低い数値(50.7%)となっていることを踏まえ、動画の配信に当たっては、TikTokのトレンドを意識するだけでなく、「ぬまづの宝100選」に選定されている場所で撮影を行い動画の中で宝の一つとして紹介するなど、対象として意識する10代・20代が沼津の魅力ある地域資源を知るためのきっかけとなるよう工夫しております。 また、公式TikTokをきっかけに本市に興味を抱き、本市職員採用試験を受験した方もおり、TikTok及び若手職員が中心となった「沼津市役所新時代創造プロジェクト」の相乗効果が、本市の人材確保に繋がる成果もあったものと考えております。 ご指摘いただいたとおり、情報は受けとり手によって受けとめ方が異なるところでございます。今後につきましては、お届けしたい層への「親しみやすさ」と公式SNSならではの「安心感」の両方に配慮しながら、適切な情報発信に努めてまいります。	ぬまづ プロモーション課

受付日	完了日	件 名 ・ 内 容	回 答（市の考え方や対応など）	担当課
6月29日	7月13日	岡宮の悪臭について 2026.06.27 PM22:00台 駿河の湯来訪時、外周のあまりの臭さに気分が悪くなり… … 以前から常々悪臭がしていましたが、上記は特に酷く、車の運転も辛いほどでした。 たまらず現況を調べてみたところ、市民の苦情に対し、以前から市政が対応する（している）、発生元の畜産場とも打開策を執っている、と応えていましたが……変わっていませんよね。常日頃あの一帯は臭いままです。 度を越えた悪臭、管理不行き届きはきつめの行政指導対象ではないでしょうか。場所も場所です。沼津インターといえば他県からの窓口です。 付近に駐車、通過したせいで車内に残り香があり臭くて困っています。 ラブライブや中央公園、駅前改革といった「わかりやすい成果」にうつつを抜かすのも結構ですけど、こういった「市政の基本」を疎かにしないで下さい。	岡宮地区の悪臭につきましては、これまでも「市民の声」をはじめ、市民のみなさまからご意見をいただいております。市では、その原因と思われる事業者に対して、臭気測定を実施し、臭気対策について継続的な指導を実施しております。 畜産農業を営む上で、臭気の発生を完全になくすることが困難ため、事業者は脱臭装置の設置に関する市独自の補助金を活用し、令和6、7年度に次亜塩素酸水を利用した装置を設置しました。令和8年度にはさらに脱臭装置を増設する計画があり、さらなる臭気抑制に努めているところです。 今後も、市としましては、周辺環境への影響を軽減できるよう、新たな技術を活用した先進事例等の調査研究を進めるとともに、引き続き、事業者への指導・助言を行い、悪臭の軽減に努めてまいります。	環境政策課 農林農地課
6月29日	7月13日	避難所に持ち込む防災用品等について 最近日本各地で地震が頻発しており、小さい子どもがいるため不安な日々を過ごしています。 被災者から聞いた話ですが、避難所に行くと、避難所の係りの方に、個人で持ち込んだ防災用品、食べ物や水、オムツなど、不公平のないように避難所でみんなに配るから回収しますと言われる、また準備してこなかった方々に助け合いだと言われ取られてしまう、などという事が起きると聞きました。 とても不安です。私は家族のため子供のために日々防災用品を揃えています。他人のために用意しているのではありません。その話を聞いたとき、命を守るための避難所でそのようなことが起きるなんて、と怒りを感じました。それこそ不公平です。きちんと用意していた人がバカを見る、そんなことは許されません。 沼津市の開設予定の避難所ではそのようなことがあるとは信じたくありませんが、市はどのようにお考えでしょうか。またそのように避難所で言われた場合の対策を教えてください。とありがたいです。 今は命を守るための避難所に行くことが怖いです。 よろしくお願いいたします。	この度は貴重なご意見をいただきありがとうございます。 沼津市では、お住まいの家が被災された方が、一定期間避難生活を送る場所として市内50か所を指定避難所として位置付けております。 避難生活に必要な物資については、避難所及び市内の倉庫に備蓄しておりますが、市の備蓄品には限りがあり、物資の配布には時間がかかることも想定されます。そのため、日頃より最低限の備え（飲料水、食料、携帯トイレ、日用品、医療品等生活必需品の備蓄（食料・飲料水については最低7日分））について、広報ぬまづや地域の防災講座、防災指導員などを通じて周知・啓発を行っております。 避難所の運営は地域の自主防災会が主体となり行われますが、ご自身やご家族のために用意した備蓄品は個人の物ですので、本市といたしましても、適切な避難所運営がなされるよう努めてまいります。	危機管理課